

「佐倉市地球温暖化対策地域推進計画（素案）」に寄せられた 意見と市の考え方について

(1) 意見募集結果

意見募集期間	平成20年2月18日から 平成20年3月3日まで
意見募集結果	意見提出者数：4名 意見数：28件
意見に対する対応	意見を参考に案を修正したもの 6件 原案のとおりとしたもの 22件

(2) 意見の内容と市の考え方

No	提出された意見の内容	意見に対する考え方	案の修正の有無
	全体に対する意見		
1	この計画書は、スタート時点のものですから、細かな吟味は不要のように思います。市民・事業者・市の三者協働の推進組織を早急に立ち上げた上で、具体的な対策(活動項目)を明確にし、実際に取組むことが大切です。	市においても、市民・事業者・市の推進組織により、実質的な温室効果ガス排出量の削減に努める必要があると考えています。つきましては、素案にも示させて頂いた「(仮称)佐倉市地球温暖化対策地域協議会」を設置し、地域全体での行動を推進していくことを考えております。	無
2	市民に省エネ意識を押し付けるだけの活動にならないようにしましょう。	本計画は、市民・事業者・市が協働しながら推進されるものです。市としても国や県の事業等を睨みながら、今後、様々な事業を展開していこうと考えております。 もちろん、市民の皆様にも、一人ひとりができる事から取り組む地球温暖化対策を実践していただけるよう、市としてもサポートしていきたいと考えております。	無
3	全ての対策は、まず大人がすること	素案においては、特に子供の教	無

	を前提にしましょう。「しょうがないから子供を教育する」の発想は止めましょう。	育の観点からの地球温暖化対策について、特に強調はしておりません。市では、学校教育等を通じての環境教育は重要と考えておりますが、家庭や地域において大人がまず手本を示すことが、家庭や地域における子供たちへの地球温暖化対策に係る教育につながるものと考えます。 子どもに対する環境教育ばかりではなく、市民・事業者・市の一人ひとりの大人が率先した取組を行っていけるよう展開していきたいと考えます。	
4	全体的なまとめりとしては、非常に簡潔で良い内容であると考えます。	ありがとうございます。本計画を市民・事業者のみなさんに十分周知し、実行していきたいと考えております。	無
	全体（用語への挿入）		
5	P.15 【自動車の使用による温室効果ガス排出の削減に向けて】最下段「低公害車の導入を推進します。」 （意見）次のとおり、加筆修正されたい。「電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、低燃費車など低公害車の導入を推進します。」 （理由）市民の方がわかりやすいように低公害車の具体的例示を記載した方がよいと思う。なお、「低公害車」には、「クリーン自動車」と「低燃費かつ低排出ガス認定車」が含まれる。 （下記 P.36用語集「低公害車」参照） なお、当素案の他の部分についても、同様の理由で下記のとおり修正。 P.20 市民の取り組み（例） <交通における省エネルギー対策を実践しよう> 5項目目 <修正案> 「新たにくるまを購入する際は、電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、低燃費車など低公害車、低燃費車を選びましょう。	ご提案を一部採用し、素案を下記のとおり修正します。 第4章 1 自動車の使用による温室効果ガス排出の削減に向けての最下段を「電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、低燃費車など低公害車の導入を推進します。」と修正します。 第5章 1 市民の取り組み(例) <交通における省エネルギー対策を実践しよう> 5項目目を「新たにくるまを購入する際は、電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、低燃費車など低公害車を選びましょう。」	有

	<p>」</p> <p>P.21 事業者の取り組み(例) < 移動における環境配慮の推進 > 6 項目目</p> <p>< 修正案 > 「電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、低燃費車など低公害車・低燃費車の購入・切り替えを計画的に行いましょう。」</p>	<p>と修正します。</p> <p>第5章 2 事業者の取り組み(例) < 移動における環境配慮の推進 > 6 項目目を「電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、低燃費車など低公害車の購入・切り替えを行いましょう。」と修正します。</p>	
	<p>第3章 削減目標に対する意見</p>		
6	<p>P.13 【佐倉市における温室効果ガス削減目標および具体的な取り組み】</p> <p>(意見) 佐倉市の地域推進計画には、「中間目標年度を目途に、佐倉市の60%以上の世帯においてエコライフ行動が認識・実践されるまちをつくり、2005年度の排出量を超えないようにします。」と記載されている。</p> <p>その前提の考え方は、佐倉市において、このまま何も対策をしないと温室効果ガスが2017年度には104万トンとなってしまいが、「エコライフ行動」で4万トン削減すれば2005年度の排出量を超えないというものである。</p> <p>日本全体の目標として、京都議定書での約束に従い2008年から2012年の平均排出量を1990年比6%削減をしようとしているときに、佐倉市の目標とする排出量の水準は1990年比で25%、20万トンの増加を容認するものであるが、そのような水準でいいものか。排出量削減目標を再考されてはどうか。</p>	<p>素案にありますように、1990年から現在までに、佐倉市住宅団地や工業団地などの開発の経緯や、人口、世帯数の増加などの背景があります。</p> <p>本計画は、国全体の目標である1990年比6%の削減に向けて、佐倉市として貢献することを目的としたものであり、できる限り佐倉市から排出される温室効果ガスの削減に努めなければなりません。このことから、佐倉市における近年の開発により排出されるようになった温室効果ガスの削減も加味する必要はありますが、実現困難と予想される大きな目標を掲げるのではなく、まずは市民一人ひとりの行動を如何に定着させるべきかが重要であると考えております。</p> <p>そのため、ステップアップしていくための最初の段階として「中間目標年次(平成24年度)」における目標を設定しております。</p> <p>本計画は、目標年次以降においても、継続されていくものです。また、中間年次における見直しも予定しております。本計画の取組の動向や、国の動向を踏まえ、今後の見直しにおいて、状況に見合った目標を検討していきたいと考えております。</p>	無
7	<p>90年度比6%削減を難しいと、述</p>	<p>市としては、本計画が佐倉市にお</p>	無

	<p>べるのではなく、日本国内において、『佐倉市だけでも唯一削減を達成する』と、強く意思表示する事が、住民意識の大きな改革と、市のリーダーシップではないかと考えます。</p>	<p>ける地球温暖化対策への取組の第一歩としてとらえ、まずは市民・事業者・市がそれぞれの役割の中で、できることから取り組むことを重視したいと考えています。本計画期間における取組の推進によって得られた結果を評価しながら、見直し時点において、改めて検討したいと考えています。</p>	
8	<p>< P.13 「佐倉市における温室効果ガス削減目標および具体的な取り組み」 ></p> <p>日本全体で1990年比6%削減しようとするときに、エコライフ行動を認識・実践する家庭を60%以上とし、2005年の排出量を超えないようにしようとのことであるが、前者だけでは各主体の温暖化防止に向けた施策の実施状況が把握できないのではないかと、また、後者の目標レベルは低くないかと、再検討されてはいかがでしょうか。</p> <p>排出量削減目標については、「千葉県地球温暖化防止計画～ちばCO2CO2ダイエット計画～」が、『1世帯あたりのエネルギー使用量を10%削減する』と目標を定めており、人口・世帯が増えていても適用できるので参考になると思います。また、県が定めているその他の項目についても参考にすれば、排出量目標が見直せると思います。</p> <p>千葉県地球温暖化防止計画(H18年改定)～ちばCO2CO2こつこつダイエット計画～</p>	<p>本計画においては、素案に示すとおり佐倉市がまず取り組む事業として、「(仮称)佐倉市環境家計簿活用推進事業」「(仮称)佐倉市エコライフ推進員制度事業」「(仮称)環境にやさしい事業者連絡会設置事業」「(仮称)エコドライブ推進事業」を掲げております。これらの事業を実施し、その効果を検証するにあたっては、いかに市民等にエコライフ行動が定着されたかを知ることが重要であると考えます。</p> <p>素案に示すように、計画の推進にあたっては、アンケート調査を実施し、エコライフ行動の定着度を調査する予定です。</p> <p>施策等の管理にあたっては、今後、見直しを予定している佐倉市環境基本計画等と調整を図るとともに、佐倉市環境白書における地球温暖化対策に関わる報告を充実することにより、管理していく予定です。</p> <p>その他、目標に対する考え方は「意見6」と同様の回答とさせていただきます。</p>	無
	<p>第4章 市の施策に対する意見 (具体的な施策の取り入れ)</p>		
9	<p>具体的な対策には、外部資金を調達できる活動や経費削減策も取り入れましょう。</p>	<p>ご提案のとおり、施策等の実施においては、予算を確保する、あるいは環境配慮による経費の削</p>	無

	<p>例1：今年4月に施行される改正容器包装リサイクル法の「事業者が市町村に資金を拠出する仕組み」を活用し、分別徹底指導などにより業務の改善を図るとともに、更に特定事業者拠出の資金を獲得する。</p> <p>例2：周辺市町村と連携して利根川水系に較べて3倍かかっている印旛沼の水の上水浄化費用の削減を図る。</p>	<p>減等を考慮していかなければなりません。市の財政も厳しい状況にあります。本計画に示した施策、事業はもちろん、今後の推進により新たに必要となる事業等についても、出来る限り予算措置化を図り、市民・事業者のみなさんの理解を得ながら取り組みを実行していきたいと考えております。</p>	
10	<p>< P.15 ~ 第4章 市の温室効果ガス排出の削減等に向けた施策 ></p> <p>自治体の地域推進計画策定については、環境省から「地球温暖化対策地域推進計画策定ガイドライン」が示されており、これを参考にして具体的な施策を織り込んだほうがよいと思います。</p> <p>現在、平成17年に策定された京都議定書目標達成計画の見直しがされており（3月中に閣議決定されるとの報道もある）これも踏まえて施策全般を見直しされてはいかがでしょうか。</p> <p>地球温暖化対策地域推進計画策定ガイドライン（第3版） 平成19年3月環境省地球環境局</p>	<p>本計画においては、市の温室効果ガス排出の削減等に向けた施策の他に、佐倉市がまず取り組む事業として、4つの事業を掲げております。</p> <p>市の現状における予算措置を踏まえた取り組みを示しており、今後、本計画に掲げた事業や施策の実施状況を踏まえ、必要に応じて取り組みの充実を図り予算措置を図っていくものとします。</p> <p>また、本計画は平成24年度を中間目標年度としており、同時期においては、京都議定書目標達成計画の見直し動向を踏まえ、計画の見直しを行っていききたいと考えております。</p>	無
11	<p>< 第4章 市の温室効果ガス排出の削減等に向けた施策 ></p> <p>産業部門、民生（業務・家庭）部門、運輸部門等についても国のガイドラインを参考にして施策に取組めば、エコライフ行動実践60%というような検証不能な目標設定にはならないと思います。省CO₂につながる行動はもちろん必要ですが、効果が確実にある新エネルギーや高効率機器の普及やCO₂削減ができる社会システムの構築につながる施策を市は進めていく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>例えば、“チーム・-6%”の“めざせ！ 1人、1日、1kgCO₂削減”</p>	<p>意見6および10における回答と同様とさせていただきます。</p>	無

	<p>の『私のチャレンジ宣言』の取り組み項目の中で効果の大きなものは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電を新規に設置する 670g ・ 給湯器を高効率給湯器（CO₂冷媒ヒートポンプ型）に買い替える 607g ・ 太陽熱利用温水器を新規に設置する 408g <p>があります。</p> <p>これらを省エネ機器、環境配慮方製品の具体例として市民の取り組みに記載するとともに、市として積極的に支援（補助金）をしたら、市民に市の本気度が伝わり、市民の意識も向上し、温暖化防止の行動・機器の普及が進むのではないのでしょうか。</p>		
	<p>第4章 市の施策に対する意見（緑地）</p>		
12	<p>昨年末のバリ島COP13（気候変動枠組条約第13回締約国会議）では、森林の影響がクローズアップされたそうです。工場立地法の緑地面積の基準などについて、対応の難しい県よりも高い市独自の基準作成を検討しても良いと思います。</p>	<p>ご提案を参考にさせていただき、今後の計画推進の中において検討させていただきます。</p>	無
13	<p><P.17 「佐倉市では 3 水と緑の創出・保全に向けて」></p> <p>水と・緑を保全することの大切さは分かりますが、温暖化対策としては的外れの感がします。「水と緑の創出・保全に向けて」については、森林吸収源対策として、ガイドラインの76頁に種々の対策が示されていますので、緑の多い佐倉市に相応しい森林対策の施策を選択しPDCAをまわせるようにすればよいと思います。</p>	<p>佐倉市における森林吸収源対策を展開するにあたっては、佐倉市森林整備計画等との連携によって具体的に展開していくものと考えております。</p> <p>本計画においては、その第一歩として水と緑の創出・保全が地球温暖化対策に繋がることを位置づけることにより、佐倉市としての地球温暖化対策の姿勢の一面を示すこととしました。</p> <p>本計画においてはここまでの表記としていますが、今後の計画の推進において、水と緑に関する施策等についてもチェックする</p>	無

		ことにより、見直しや関連施策の事業化にあたって、実施可能な森林吸収源対策を講じていきたいと考えております。	
	第4章 市の施策に対する意見 (防災対策)		
14	防災計画とその対策は、従来の公共土木工事の延長でなく、新たな視点で、計画を作成し、実施しましょう。	本計画において、異常気象の顕著化を念頭においた防災対策を位置づけたことは特徴的です。もちろん温暖化が進むことを前提にしているわけではありません。しかしながら、佐倉市地球温暖化対策地域推進計画検討懇話会においても、すでに現実として異常気象が顕著に表れている事実を認識し、それによる被害を食い止めるための予防策を講じることも考えていくべきだとの意見もあり、今後の地球温暖化対策の考え方の一つとして、本計画において位置づけを行ったものです。本計画ではご提案のとおり、具体的な対策を示すものではありませんが、今後、市の防災対策の検討時においては地球温暖化の進行に伴う被害等も考慮しながら、安全対策に努めていくものと考えております。	無
15	<P.17 「佐倉市では 4 異常気象の顕著化を念頭においた防災対策」> 本計画は温暖化の進行を防止するための施策を立て実行することに市をあげて取り組むことを定めるものであり、温暖化が進むことを前提にしている(容認している)ようで、違和感をおぼえます。防災対策については、他の計画で取り組むべきだと思います。	意見 14 と同様の回答とさせていただきます。	無
	第4章 市の施策に対する意見 (佐倉市役所の市内一事業体としての率先した取り組みにむけて)		
16	P.18【佐倉市役所の市内一事業体とし	佐倉市地球温暖化防止実行計画	無

	<p>ての率先した取り組みにむけて】7行目以降 (意見) 『「佐倉市地球温暖化防止実行計画」を策定し、推進していくものとしします。』とあるが、市民の方からは、市の具体的な取り組みが全くみえないので、基本的な考え方や具体的施策を記載すべきでないか。</p> <p>基本的考え方では、より大きな効果を得るためには、従来からの“節約”的発想だけでなく、エネルギー消費効率のよい機器使用による「省エネルギー」や「省CO₂」への発想の転換が必要と考える。また、市の施設の建設や維持管理の場面でもこれまでの単年度予算を重視するような短期的な視点ではなく、LCC(ライフサイクルコスト)、LCCO₂(ライフサイクルCO₂)など長期的な視点での経済性や環境性を評価することが重要であると考えます。</p> <p>このような基本的な考え方にたって具体的施策が実施されることが望ましいと考える。</p> <p>例えば、「市の公共施設の建設、維持管理などにおいて、LCC(ライフサイクルコスト)、LCCO₂(ライフサイクルCO₂)を踏まえた、省エネルギー性、省CO₂に優れたヒートポンプ利用設備や新エネルギーの導入を検討・実施する。」などである。</p>	<p>は、別途、ホームページ等で公開する予定であり、また進捗状況についても随時公表していく予定です。そちらを参照して頂くことにより、同計画の考え方等をご理解いただきたいと思います。内容における基本的考え方のご提案頂いた事項については、参考にさせていただきます。</p>	
17	<p><P.18 「佐倉市では 5 佐倉市役所の市内一事業者としての率先した取り組みに向けて」></p> <p>自治体の実行計画については、地域推進計画同様、環境省から「地球温暖化対策地域推進計画策定ガイドライン」が示されていますので、これを参考に別に定めることとは思いますが、現在考えられている具体的な取り組み項目を記載すれば、市民に市役所の取り組みが理解されると思います。</p>	<p>(意見 16 と同様) 佐倉市地球温暖化防止実行計画は、別途、ホームページ等で公開する予定であり、また進捗状況についても随時公表していく予定です。そちらを参照して頂くことにより、同計画の考え方等をご理解いただきたいと思います。内容における基本的考え方のご提案頂いた事項については、参考にさせていただきます。</p>	無

	<p>実行計画策定マニュアル及び温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン 平成19年3月 環境省地球環境局</p>		
	<p>第4章 市の施策に対する意見（その他）</p>		
18	<p>市内及び千葉県には、環境関連の先進的な取り組みをしている企業があるので、できるだけ紹介しましょう。また、市民の取り組みにも良い例があるのではないかと思います。</p> <p>例えば、昨年のマイバック作品の環境大臣賞消費者部門では、賞を受けた9人の内2人が佐倉市民でした。そのような例が他にもあるのではないかと思います。良い事例の紹介をしましょう。</p> <p>また、ホームページに活動事例の投稿欄を設けるのもいいと思います。</p>	<p>素案に示していますように、市のホームページ、広報などを活用し、市民・事業者への環境保全行動を促進するとともに、地域や家庭における環境保全行動の実践者に対する表彰制度を検討していきます。さらには、市内においても地球温暖化防止活動を展開している市民や団体の方々が多くおられることから、「(仮称)佐倉市地球温暖化対策地域協議会」などを通じて、情報交換等を行っていきたくと考えております。</p>	無
19	<p>クールビズ・ウォームビズは、市内商業施設や公共交通機関でも実施するよう、必要があれば条例を制定して推進しましょう。</p>	<p>クールビズ・ウォームビズについては、すでに事業者等を中心に、各々の場面で実践されているところと存じております。しかしながら、本件は、現段階においては、条例等の規制にはなじまないものと考えます。条例制定については、国や他自治体等の動向を見据えながら検討はしていきますが、当面は、意識啓発等の中で定着化を図っていきます。</p>	無
20	<p>印旛沼の浄化は、佐倉市が率先して取り組み、周辺市町村を巻き込んで欲しいです。</p> <p>「住宅地域等の雨水浸透対策」、「沼内の水生植物の活用と枯れる時期の除去と肥料化」などに取り組むべきと思います。</p>	<p>印旛沼の浄化については、千葉県をはじめ、佐倉市を含む流域15市町村が連携して取り組んでおります。</p> <p>市では、住宅地域等の雨水浸透対策として、雨水浸透ます設置への助成を実施しております。また、沼内の対策については、管理者である千葉県により検討されています。</p>	無
	<p>第5章 市民の取り組み（例）</p>		

21	<p>P.19 【市民の取り組み(例) <日々の生活における省資源・省エネルギーライフ を実践しよう> 】4 項目目「 省エネ機器、環境配慮型製品に切り替えましょう。」</p> <p>(意見1) 次のとおり加筆修正されたい。</p> <p>「 高効率なヒートポンプ空調・給湯などの省エネ機器、環境配慮型製品に切り替えましょう。」</p> <p>(理由) 市民の方がわかりやすいように省エネ機器の具体的例示を記載した方がよいと思う。また、加筆した機器については、国として、京都議定書目標達成計画に「省CO₂に有効な対策・施策」として織り込んでおり、補助金による積極的な導入を支援・推進している。</p> <p>(意見2) 上記「意見1」ができないようなら、「省エネ機器」を資料6用語集に次のとおり追加されたい。</p> <p>【 省エネルギー機器】</p> <p>エネルギー消費効率の改善を進めるため、エネルギー消費機器のうち「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」で指定する21の「特定機器(*1)」の製造事業者及び輸入事業者に、機器ごとに定めた目標年度以降、現在商品化されている製品のうち最も優れている機器の性能を勘案(トップランナー方式)して定めた省エネルギー基準の遵守を義務付けています。</p> <p>さらに、消費者が省エネルギー機器を選択しやすくすることにより省エネルギー機器の普及を図ること、及び、機器の製造事業者等に対して一層の効率改善努力を促すことを目的として、「16の製品(*2)」については、ロゴマークを用いた情報提供方法である「省エネルギーラベリング制度」が設けられています。省エネラベ</p>	<p>本項において示す省エネ機器、環境配慮型製品には、家電、パソコン等も含む、家庭における広い範囲での機器、製品において、環境配慮がなされているものの利用を促しています。したがって、特定のものをイメージする事例を掲げるについては避けたいと考えています。</p> <p>なお、用語集においては、ご提案を採用し、「省エネルギー機器」を下記のとおり追加修正します。</p> <p>【省エネルギー機器】</p> <p>エネルギー消費効率の改善を進めるため、エネルギー消費機器のうち「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」で指定する21の「特定機器(*1)」の製造事業者及び輸入事業者に、機器ごとに定めた目標年度以降、現在商品化されている製品のうち最も優れている機器の性能を勘案(トップランナー方式)して定めた省エネルギー基準の遵守を義務付けている。</p> <p>さらに、消費者が省エネルギー機器を選択しやすくすることにより省エネルギー機器の普及を図ること、及び、機器の製造事業者等に対して一層の効率改善努力を促すことを目的として、「16の製品(*2)」については、ロゴマークを用いた情報提供方法である「省エネルギーラベリング制度」が設けられている。省エネラベルには、国の目標を達成している(グリーンのラベル)か、いない(オレンジのラベル)か、省エネ基準達成率、省エネ基準達成の目標年度、エネルギー消費効率、の4つの情報が含まれ</p>	有
----	---	--	---

	<p>ルには、 国の目標を達成している（グリーンのラベル）か・いない（オレンジのラベル）か、 省エネ基準達成率、 省エネ基準達成の目標年度、 エネルギー消費効率、の4つの情報が含まれています。省エネ性能が優れている製品は、光熱費が安くなるメリットがあります。</p> <p>また、エネルギー効率のより高い機器の導入支援として、従来機器と比較して価格が高い高効率給湯器（CO₂冷媒ヒートポンプ給湯器、潜熱回収型給湯器、ガスエンジン給湯器）や業務用ビルにおける省エネルギーを図るために効果的なヒートポンプ技術を活用した高効率空調機の円滑な導入を図る観点から、価格差の一部を補助する支援策が講じられています。</p> <p>* 1 : 「特定機器(21)」 * 2 : 「省エネラベリング制度対象機器（下線：16）」</p> <p>乗用自動車、貨物自動車、<u>エアコンディショナー、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、ジャー炊飯器、電子レンジ、蛍光灯器具、電気便座、テレビジョン受信機、ビデオテープレコーダー、DVDレコーダー、電子計算機、磁気ディスク装置、複写機、ストーブ、ガス調理機器、ガス温水機器、石油温水機器、自動販売機、変圧器</u></p> <p><参考> 資源エネルギー庁 「平成 18 年度エネルギーに関する年次報告」(エネルギー白書 2007)</p>	<p>ている。省エネ性能が優れている製品は、光熱費が安くなるメリットがある。</p> <p>また、エネルギー効率のより高い機器の導入支援として、従来機器と比較して価格が高い高効率給湯器（CO₂冷媒ヒートポンプ給湯器、潜熱回収型給湯器、ガスエンジン給湯器）や業務用ビルにおける省エネルギーを図るために効果的なヒートポンプ技術を活用した高効率空調機の円滑な導入を図る観点から、価格差の一部を補助する支援策が講じられている。</p> <p>* 1 : 「特定機器(21)」 * 2 : 「省エネラベリング制度対象機器（下線：16）」</p> <p>乗用自動車、貨物自動車、<u>エアコンディショナー、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、ジャー炊飯器、電子レンジ、蛍光灯器具、電気便座、テレビジョン受信機、ビデオテープレコーダー、DVDレコーダー、電子計算機、磁気ディスク装置、複写機、ストーブ、ガス調理機器、ガス温水機器、石油温水機器、自動販売機、変圧器</u></p>	
	第 5 章 事業者の取り組み（例）		
22	<p>P.21 【事業者の取り組み（例）<環境に配慮した事業活動の推進>】2 項目目「 E S C O 事業導入について検討しましょう。」 (意見)次のように修正されたい。「 E S C O 事業の導入等により、L C C</p>	<p>ご提案を採用し、素案を下記のとおり修正します。</p> <p>第 5 章 2 事業者の取り組み（例）<環境に配慮した事業活動の推進>】2 項目目を「 E S C</p>	有

	<p>(ライフサイクルコスト) LCCO₂ (ライフサイクルCO₂)を踏まえ、高効率なヒートポンプ空調・給湯など省エネルギー・省CO₂化に努めましょう。」</p> <p>(理由)市民・事業者の方がわかりやすいように省エネ機器の具体的例示を記載した方がよいと思う。また、加筆した機器については、国として、京都議定書目標達成計画に「省CO₂に有効な対策・施策」として織り込んでおり、補助金による積極的な導入を支援・推進している。</p>	<p>O事業の導入等により、LCC (ライフサイクルコスト) LCCO₂ (ライフサイクルCO₂)を踏まえ、高効率なヒートポンプ空調・給湯など省エネルギー・省CO₂化に努めましょう。」</p>	
23	<p>事業者として加筆して頂きたい点として、代替エネルギーの利用拡大です。</p> <p>人間生活を営む上に最低限必要なエネルギーはあります。削減・削減と推し進めるだけでなく、脱・化石燃料に根ざした代替エネルギーを普及させることも、温室効果ガスの削減に効果を有すと、考えています。</p>	<p>素案に示している「事業所における太陽光や太陽熱等の自然エネルギーの導入を図りましょう。」という項が該当すると考えます。ご提案のとおり、化石燃料に代わる、代替エネルギーの普及は、市としても重要な取り組みになると考えます。本計画においては、現在、普及の実績が考えられる太陽光などを例に取り上げておりますが、国や各機関における動向を踏まえ、より効果的、効率的な代替エネルギーの導入、普及につながる事業の検討や、市民・事業者への情報提供等に努めていきたいと考えます。</p>	無
24	<p>私共の木質ペレット事業は、十分な熱エネルギーを有し、各家庭での利用も比較的安易に行える等、様々な利点を有しております。</p> <p>また、事業向けにペレットボイラー(冷暖可能)も取り扱っておりますので、事務所・ホテル・浴場・ビニールハウス等々、各エネルギー利用者に対し十分な効果を得られます。</p> <p>今後は、佐倉市内で千葉県内初のペレット製造工場を設立できるように目指しております。原材料は、剪定枝や間伐材、被害木など、バージン原料</p>	<p>木質ペレットの活用は地球温暖化対策にあたっての有効な手段の一つと考えます。また、木質ペレットを製造する企業が佐倉市内にあることは、今後の取組において十分に考慮されるべき事項であると考えております。</p> <p>今後の「(仮称)環境にやさしい事業者連絡会設置事業」への参加や、各事業者の取組、市の事業においても、協力して頂ける機会を設けることを検討していきたいと考えます。</p>	無

	<p>であり未利用廃棄物を使用します。</p> <p>これらの原材料は、放置しても焼却しても、埋め立て処理してもCO₂を発生させてしまいます。これらを熱エネルギーに替える事で、有効利用しカーボンニュートラルにより、化石燃料から発生している温室効果ガスの増加を防止できるものであると考えています。</p>		
25	<p>新エネは、導入コストが当初割高である事と、供給面での不安などの心理不安が先行し、普及に消極的になりがちです。これらの不安部分を、行政との連携を図る事により、解消する事はさほど難しい事ではないと考えています。</p>	<p>新エネルギー導入にあたっては、まず新エネルギーに対する各々の理解を深めることや情報交換を行うことが重要であると考えます。</p> <p>素案で示している「(仮称)環境にやさしい事業者連絡会設置事業」などにおいて、情報交換や勉強会などを行うことによって、市内事業者の新エネルギー導入に対する意識の高揚を図っていくことなどを考えております。</p>	無
資料6 用語集			
26	<p>P.36 【資料6 用語集 「コージェネレーションシステム」】最下段「・・・コージェネレーション設備の設置を行うこと」</p> <p>(意見) 次のように加筆修正されたい。「・・・コージェネレーション設備の設置を行うこと」とされている。(理由) 脱字ではないかと思う。</p>	<p>ご提案を採用し、素案を下記のとおり修正します。</p> <p>資料6 用語集の「コージェネレーションシステム」の説明、最下段を「・・・コージェネレーション設備の設置を行うこと」とされている。」と修正します。</p>	有
27	<p>P.36 【資料6 用語集 「低公害車」】</p> <p>(意見) 以下のとおり修正されたい。石油代替エネルギーを利用したり、ガソリンの消費量を削減したりすることで排気ガスを全く排出しない、または排出しても量が少ない車をクリーンエネルギー自動車といいます。クリーンエネルギー自動車には、電池に蓄えられた電気によりモーターを回転させて走行する電気自動車、エンジン</p>	<p>ご提案を採用し、素案を下記のとおり修正します。</p> <p>資料6 用語集の「低公害車」の説明を「石油代替エネルギーを利用したり、ガソリンの消費量を削減したりすることで排気ガスを全く排出しない、または排出しても量が少ない車をクリーンエネルギー自動車という。クリーンエネルギー自動車には、電池に蓄え</p>	有

	<p>とモーターといったように複数の原動機を組み合わせるハイブリッド自動車、水の電気分解の逆反応を利用し、水素と酸素を反応させて電気エネルギーを直接取り出し、モーターを作動させる燃料電池自動車、天然ガスを燃料とする天然ガス自動車、天然ガスや石炭から製造される液体燃料を使用するメタノール自動車があります。</p> <p>また、これらのクリーンエネルギー自動車に加え、低燃費かつ低排出ガス認定車（「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づく燃費基準（トップランナー基準）早期達成車で、かつ「低排出ガス車認定実施要領」に基づく低排出ガス認定車）を含めて低公害車といわれます。</p> <p>（理由）下記の資源エネルギー庁などの定義を参考にした方がよいのではないか。</p> <p><参考> 資源エネルギー庁 「平成 18 年度エネルギーに関する年次報告」（エネルギー白書 2007）</p>	<p>られた電気によりモーターを回転させて走行する電気自動車、エンジンとモーターといったように複数の原動機を組み合わせるハイブリッド自動車、水の電気分解の逆反応を利用し、水素と酸素を反応させて電気エネルギーを直接取り出し、モーターを作動させる燃料電池自動車、天然ガスを燃料とする天然ガス自動車、天然ガスや石炭から製造される液体燃料を使用するメタノール自動車がある。</p> <p>また、これらのクリーンエネルギー自動車に加え、低燃費かつ低排出ガス認定車（「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づく燃費基準（トップランナー基準）早期達成車で、かつ「低排出ガス車認定実施要領」に基づく低排出ガス認定車）を含めて低公害車といわれている。」と修正します。</p>	
28	<p>P.37 資料6 用語集 「ヒートポンプ」</p> <p>（意見）次のとおり修正されたい。温度の低いものから温度の高いものへ熱を移動する役割を果たす装置であり、エアコンが代表的な例である。冷房時は外気よりも涼しい室内から熱を奪って室温を低下させ、室内から奪った熱を室外機から放出させる。逆に暖房時は、室内より寒い外気から熱を汲み上げ室内に放出することで室温を上げることができる。電気冷蔵庫やCO₂冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）もヒートポンプを利用した機器であり、最近では全自動洗濯機の乾燥にも使われている。</p>	<p>ご提案を一部採用し、素案を下記のとおり修正します。</p> <p>資料6 用語集の「ヒートポンプ」の説明を「温度の低いものから温度の高いものへ熱を移動する役割を果たす装置であり、エアコンが代表的な例である。冷房時は外気よりも涼しい室内から熱を奪って室温を低下させ、室内から奪った熱を室外機から放出させる。逆に暖房時は、室内より寒い外気から熱を汲み上げ室内に放出することで室温を上げることができる。電気冷蔵庫やCO₂冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキ</p>	有

ヒートポンプは投入したエネルギーより多くのエネルギーを得ることができるが、近年の高効率化には目覚ましいものがあり、最新の電動ヒートポンプでは入力したエネルギーの6倍以上のエネルギーを得られる機器も開発され、大きなCO₂削減効果を見込むことができる。

国の「めざせ! 『1人、1日、1kg CO₂削減』 私のチャレンジ宣言」でも、エコキュートが『給湯器を高効率給湯器(CO₂冷媒ヒートポンプ型)に買い替える。・・・607g』と太陽光発電(670g)に次ぐ遜色のない削減量となっている。

また、(財)ヒートポンプ・蓄熱センターは、暖房・給湯機器が全てヒートポンプ方式に変更した場合、約1.3億tのCO₂削減ポテンシャルがあると試算している。

(理由)ヒートポンプに関する最近の動向などを加え、また、仕組みについても市民の方によりわかりやすくなるよう修正した。

なお、素案で「冷媒にはフロンガスやアンモニアなどが用いられている」とあるが、最近では、地球温暖化係数が小さい二酸化炭素やイソブタンが使用されるようになっている。(ちなみに「ヒートポンプ給湯器(エコキュート)」の冷媒は二酸化炭素。)市民の方には、そこまで詳しく説明する必要はないと思うので、冷媒部分の記載は削除した。

<参考>

私のチャレンジ宣言

ュート)もヒートポンプを利用した機器であり、最近では全自動洗濯機の乾燥にも使われている。

ヒートポンプは投入したエネルギーより多くのエネルギーを得ることができるが、近年の高効率化には目覚ましいものがあり、最新の電動ヒートポンプでは入力したエネルギーの6倍以上のエネルギーを得られる機器も開発され、大きなCO₂削減効果を見込むことができる。

国の「めざせ! 『1人、1日、1kg CO₂削減』 私のチャレンジ宣言」の中でも、エコキュートが『給湯器を高効率給湯器(CO₂冷媒ヒートポンプ型)に買い替える。』と太陽光発電(670g)に次ぐ607gの削減量となっている。

また、(財)ヒートポンプ・蓄熱センターは、暖房・給湯機器が全てヒートポンプ方式に変更した場合、約1.3億tのCO₂削減ポテンシャルがあると試算している。」と修正します。